

| | | |
|-----------|---|--|
| 科目名 | 教育史 | |
| 担当者 | 有松 しづよ / ARIMATSU, Shizuyo | |
| 科目情報 | 心理臨床<教育臨床> / 選択 / 前期 / 講義 / 2単位 / 2年次 | |
| 科目概要 | 授業内容 | 教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想について学ぶ |
| | 到達目標 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 西洋の近代教育思想史を学ぶことで、今日の教育に関する基本的な考え方の源流について理解できるようになる。 ・ 近世及び近現代の日本の教育史を学ぶことで、日本の教育の形成過程を理解するとともに、今日の教育について歴史的な視点をもって考えることができるようになる。 |
| 授業計画 | (1) はじめに (2) 西洋の近代教育思想 (1) ー ルソー, コンドルセー (3) 西洋の近代教育思想 (2) ー ペスタロッチ, ヘルバルトー (4) 西洋の近代教育思想 (3) ー フレーベル, オーエンー (5) 西洋の近代教育思想 (4) ー デューイ, モンテッソーリー (6) 近世以前の教育史 (7) 明治時代の教育 (1) ー 近代教育の開始ー (8) 明治時代の教育 (2) ー 近代教育制度の確立ー (9) 大正時代の教育と大正新教育運動 (10) 昭和戦前期の教育と戦時下の教育 (11) 戦後の教育 (1) ー 戦後教育改革 (12) 戦後の教育 (2) ー 1950年代以降の教育ー (13) 教育慣行の歴史 - 学校行事 (14) 教育慣行の歴史 - 制服 (15) 近現代日本の教育と鹿児島 | |
| 自学自習 | 事前学習 | 参考文献を読んでおく。 |
| | 事後学習 | 既受講内容について復讐する |
| 使用教材・参考文献 | 【教】 講義中に教材プリントを配布する 【参】 勝山吉章編著『西洋の教育の歴史を知るー子どもと教師と学校を見つめて』 あいり出版 2011年 ISBN9784901903479 ほか | |
| 成績評価方法と基準 | <基準> 今日の教育に関する基本的な考え方の源流や、日本の教育の形成過程について理解するとともに、今日の教育について歴史的な視点をもって考えることができること <方法> 授業参加度 55点 定期試験45点 | |
| 備考 | | |